

あきつ



No.27 令和5年12月8日
校長 太良木 香江

12月 まとめの時期に入りました。

12月に入って1週間、2学期のまとめの時期になりました。「漢字のまとめのテスト」「九九の練習の継続」等、学習面でのまとめを子どもたちも取り組んでいます。また3年～6年生は、11月28日、29日に熊本市学力調査を行いました。通常行っている市販のテストとは異なり、初めて読む読み物であったり、資料から考察して問題を解いたり等、思考力、表現力を更に必要とする問題でした。学校では「何を知っていて、何ができるか」＝知識・技能、「理解していること・できることをどう使うか」＝思考・判断・表現、そして主体的に学習に取り組む態度を大事にして日々の授業を行っています。

11月後半からインフルエンザが流行し、本校でも体調が優れない子どもたちが増えています。早寝、早起き、バランスのとれた食事、適度な運動、併せて手洗い、うがいに心がけ、元気に2学期を乗り越えていきたいです。

12月の学校集会 自分にできる役割にプラスして チャレンジしてみよう

11月の校長講話では心かがやけ月間にちなんで「真心をこめて」相手のことを心から考えて行動する話をしました。その中で「人の役に立つ」ということにもふれました。

12月の校長講話は「役割」ということに焦点をあて、話をしました。子どもたちは学級の中で当番、係活動、学級会、高学年になると委員会活動を行っています。その中で子どもは自分の役割と責任を自覚し、そのおかげで学校みんなが気持ちよく笑顔で過ごすことができている。とてもありがたいです。特に6年生は今日も朝から落ち葉掃きを行い、上級生としての役割を果たしていました。

私が感銘を受けた言葉に日本理化学工業株式会社の元社長 大山 康弘さんのご住職がおっしゃった「人間の究極の幸せ4つ」があります。1つめは「人に愛されること」2つめは「人に褒められること」3つめは「人の役に立つこと」4つめは「人から必要とされること」です。働くことと関係しています。学校は学級、学校のために活動することで人の役に立つ喜びを感じる機会が多くあります。働くことは子どもたちが社会に出る前に付けたい大事な力だと私は思います。

逆に学校で働いている私たちが子どもたちからもらう喜びもあります。先日、私が昇降口を開けに行ったとき、子どもたちが「いちにのさんはい、『おはようございます』」と声をそろえて笑顔であいさつをしてくれました。その姿を見て、子どもたちのために学校で働くということはとても幸せなことだと改めて感じ、うれしく思いました。

家庭でも子どもたちの役割があるのではないのでしょうか。ご家庭でも話題にし、家族の一員として役に立つ心を更に育てていただけると幸いです。



【 学校教育目標 】
一人一人が輝く、笑顔あふれる学校
自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進
～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



12月の生活目標

冬の健康的な過ごし方を考えよう
～ポケットから手を出そう～

あ
き
つ
あかるいあいさつ
きれいな学校
つながるこころ
つながり合おう

ホームページ
QRコード